

## 国立民族学博物館研究報告 vol.15-1; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	15
号	1
発行年	1990-08-15
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/00009209">http://hdl.handle.net/10502/00009209</a>

1990—15<sub>卷</sub>1<sub>号</sub>

# 国立民族学博物館 研究報告



インドネシアにおける手織機の類型論的研究  
——(1) 形式と分布——吉本 忍

死と蘇生  
——ケニアのテリック人とティリキ人の死の文化の変遷——小馬 徹

中米諸語の序数詞——八杉佳穂

ヒマラヤ諸語の分布と分類(上)——西 義郎



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

# 国立民族学博物館研究報告

15 卷 1 号

1990 年

## 目 次

インドネシアにおける手織機の類型論的研究 —(1) 形式と分布— ……………	吉 本 忍 ……	1
死と蘇生 —ケニアのテリック人とティリキ人の死の文化の変遷— ……………	小 馬 徹 ……	115
中米諸語の序数詞 ……………	八 杉 佳 穂 ……	205
ヒマラヤ諸語の分布と分類 (上) ……………	西 義 郎 ……	265
彙 報 ……………		339
国立民族学博物館研究報告寄稿要項 ……………		346
国立民族学博物館研究報告執筆要領 ……………		347

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

---

Vol. 15 No. 1

1990

---

YOSHIMOTO, Shinobu	Typological Studies of Indonesian Handlooms: (1) Types and Distribution.....	1
KOMMA, Toru	Death and Resurrection: Changing Cultural Notions of Death among the Terik and the Tiriki of South- western Kenya.....	115
YASUGI, Yoshiho	Ordinal Numerals in Middle American Indian Languages.....	205
NISHI, Yoshio	The Distribution and Classification of Himalayan Languages (Part I) .....	265

彙 報

(平成2年1月～平成2年3月)

人事異動

(教育職)

(採用)

3月31日 第一研究部助手 近藤 雅樹

シンポジウム

◎「近代世界における日本文明一家庭の比較文学」

日時 平成2年3月16日(金)～23日(金)

場所 国立民族学博物館

摘要 今回のシンポジウムでは、近代化が家庭をどのようにかえるか、また、どのような家庭構造であれば、その社会は近代化しやすいのかなどについて、家庭と近代社会の関係を多角的に比較論及することを目的としたものです。

組織委員会

(委員長)

梅棹 忠夫 国立民族学博物館長

(委員)

竹村 卓二 国立民族学博物館第一研究部部長

佐々木高明 国立民族学博物館第二研究部部長

杉本 尚次 国立民族学博物館第三研究部部長

友枝 啓泰 国立民族学博物館第四研究部部長

藤井 知昭 国立民族学博物館第五研究部部長

田中 武雄 国立民族学博物館管理部長  
(専門委員)

ヨーゼフ・クライナー  
ドイツ日本研究所所長

ハルミ・ベフ スタンフォード大学教授

実行委員会

(委員長)

小山 修三 国立民族学博物館第四研究部助教授

(委員)

栗田 靖之 国立民族学博物館第二研究部助教授

石森 秀三 国立民族学博物館第四研究部助教授

佐藤 浩司 国立民族学博物館第四研究部助手

久保 正敏 国立民族学博物館第五研究部助手

奥出 栄治 国立民族学博物館研究協力課長

湯浅 叡子 財団法人千里文化財団専務理事

宇治日出二郎 財団法人千里文化財団事業部長

参加者

ハルミ・ベフ スタンフォード大学人類学部教授

ジョイ・ヘンドリ  
オクスフォード・ポリテック社会学部助教授

ヨーゼフ・クライナー  
ドイツ日本研究所所長

バーバラ・モロニー  
サンタクララ大学歴史学部助教授

デトレフ・タランチュフスキ  
ボン大学日本文化研究所専任講師

鄭 暎恵 広島修道大学人文学部専任講師

上野千鶴子 京都精華大学人文学部助教授

梅棹 忠夫 国立民族学博物館長

奥野 卓司 イリノイ大学客員準教授

隈 研吾 空間研究所所長

小山 修三 国立民族学博物館助教授

村上 孝之 大阪大学言語文化学部講師

森 明子 筑波大学歴史・人類学系文部技官

日 程

3月16日(金) (千里阪急ホテル)

17:00 登 録

3月17日(土) (国立民族学博物館)

10:00 開会式(司会 小山 修三)

10:10 参加者紹介(司会 小山 修三)

10:40 基調講演 梅棹 忠夫

(代読 石森 秀三)

「家庭の形成史—文明的にみた家庭」

- セッション1 (座長：ヨーゼフ・クライナー)  
 13:00 デトレフ・タランチェフスキ  
 「現代家庭のルーツ—中世の日本・中央ヨーロッパにおける核家族家庭とその成立環境について—」  
 14:00 討 論  
 15:30 森 明子「世帯の設立と家—オーストリアと日本の家庭の構造化—」  
 16:30 討 論  
 3月18日(日) (国立民族学博物館)  
 セッション2 (座長：上野千鶴子)  
 10:00 鄭 暎恵「儒教社会における近代化と家庭」  
 11:00 討 論  
 13:00 ジョイ・ヘンドリ  
 「Modernisation and Domesticity in Japan」  
 14:00 討 論  
 15:30 村上 孝之「恋人」「友人」「妹」—日本文学における友愛結婚の成立—  
 16:30 討 論  
 3月19日(月) (国立民族学博物館)  
 セッション3 (座長：ハルミ・ベフ)  
 10:00 バーバラ・モロニー  
 「The “Katei” and Women Textile Workers in Historical Perspective」  
 11:00 討 論  
 13:00 館内見学  
 3月20日(火) 休日  
 3月21日(水) (国立民族学博物館)  
 セッション4 (座長：小山修三)  
 10:00 上野千鶴子「家事労働の文明学—ハードウェアからみた家庭—」  
 11:00 討 論  
 13:00 隈 研吾「女性による家庭支配の空間的装置としての住宅—プレハブ住宅のスタディから—」  
 14:00 討 論  
 15:30 奥野 卓司, デビッド・W・プラース「自動車文明とその欲求不満」  
 16:30 討 論  
 3月22日(木) (国立民族学博物館)  
 セッション5 (座長：ハルミ・ベフ)  
 10:00 小山 修三「経営体としてのイエ」

- 11:00 討 論  
 14:00 総合討論 (司会：小山 修三)  
 17:00 閉会式  
 3月23日(金) (千里阪急ホテル)  
 午前中 ワークショップ  
 解 散  
 ◎特別研究「アジア・太平洋地域における民族文化の比較研究シンポジウムⅠ 王権の位相」  
 日時 平成2年3月20日(火)～24日(土)  
 場所 国立民族学博物館  
 摘要 特別研究「日本民族文化の源流の比較研究」のあとをうけて、1988年より特別研究「アジア・太平洋地域における民族文化の比較研究—日本をめぐる伝統文化の見取り図」が、10年計画で開始されました。さきの特別研究が、日本を中心とした民族文化の系譜を追求したのたいて、この特別研究においては日本に隣接するアジア・太平洋地域の諸民族文化を相互的に位置づける視点から、あらたな資料の蓄積と分析を試みようとするものです。  
 実行委員会  
 (実行委員長)  
 松原 正毅 国立民族学博物館第二研究部  
 (事務局長)  
 秋道 智彌 国立民族学博物館第一研究部  
 朝倉 敏夫 国立民族学博物館第四研究部  
 杉島 敬志 国立民族学博物館第二研究部  
 塚田 誠之 国立民族学博物館第三研究部  
 林 行夫 国立民族学博物館第四研究部  
 木田 良次 国立民族学博物館管理部共同利用係  
 岡本 薫 『アジア・太平洋』事務局  
 特別講演者  
 モーリス・ブロック (ロンドン大学)  
 大林 太良 (東京大学)  
 参加者  
 (報告者)  
 足羽與志子 (神戸山手女子短期大学)

- 大谷 裕文 (西南学院大学) (座長 吉岡 政徳)  
 田村 克己 (国立民族学博物館) 15:15 「王」の不在と仏教国家  
 田中 雅一 (京都大学人文科学研究所) 足羽與志子  
 渡名喜 明 (琉球大学) (コメント) 関本 照夫  
 林 行夫 (国立民族学博物館) (座長 吉岡 政徳)
- 3月22日(木)  
 9:30 王と叛逆—ビルマの王権をめぐる  
 田村 克己  
 (コメント) 富沢 寿勇  
 (座長 関本 照夫)  
 11:00 「王」・功德・三界経—タイ王権と  
 仏教— 林 行夫  
 (コメント) 福島 真人  
 (座長 関本 照夫)  
 13:30 王と民—ジャワ王権における関係  
 性— 宮崎 恒二  
 (コメント) 杉島 敬志  
 (座長 石澤 良昭)  
 15:15 トンガの王権儀礼—タウマサ・カ  
 バを中心として— 大谷 裕文  
 (コメント) 清水 昭俊  
 (座長 石澤 良昭)
- 3月23日(金)  
 9:30 琉球王権の諸相 渡名喜 明  
 (コメント) 佐々木高明  
 (座長 清水 昭俊)  
 11:00 朝鮮半島における王権の特質  
 平木 實  
 (コメント) 小松 和彦  
 (座長 清水 昭俊)  
 13:30 皇帝支配の原像—民爵賜与を手が  
 かりに— 梶山 明  
 (コメント) 船曳 建夫  
 (座長 田中 雅一)  
 15:15 父なる中国・母なるビルマ—雲南  
 ・シップソーンパンナー王権とそ  
 の〈外部〉 長谷川 清  
 (コメント) 田辺 繁治  
 (座長 田中 雅一)
- 3月24日(土)  
 9:30 遊牧社会における王権  
 松原 正毅  
 (コメント) 小島 毅  
 (座長 田辺 繁治)  
 11:00 天皇制の柔構造 山折 哲雄  
 (コメント) 網野 善彦  
 (座長 田辺 繁治)  
 13:30 総括討論 (座長 松原 正毅)
- 日程  
 3月20日(火)  
 14:00 参加者登録  
 14:30 特別講演 モーリス・ブロック  
 (座長 田辺 繁治)  
 16:00 討 論  
 (座長 田辺 繁治)
- 3月21日(水)  
 10:00 館長あいさつ 梅棹 忠夫  
 運営委員長あいさつ 佐々木高明  
 10:25 問題提起 松原 正毅  
 (座長 宮本 勝)  
 10:30 特別講演 王権と稲 大林 太良  
 (座長 佐々木高明)  
 13:30 子供たちによって裸にされた王様、  
 さえも：南アジアの事例より  
 田中 雅一  
 (コメント) 井狩 彌介

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
周 達生	助教授(第一研究部)	2. 1. 2	2. 2. 21	中国, タイ
佐々木史郎	助手(第一研究部)	2. 1. 4	2. 3. 2	ソ連
吉本 忍	助手(第二研究部)	2. 1. 19	2. 2. 8	インドネシア, タイ
田村 克己	助教授(第二研究部)	2. 2. 13	2. 3. 15	タイ, シンガポール
大塚 和義	助教授(第一研究部)	2. 2. 18	2. 3. 3	アメリカ合衆国
吉田 集而	助教授(第二研究部)	2. 2. 23	2. 3. 22	インドネシア
長野 泰彦	助教授(第一研究部)	2. 3. 2	2. 3. 11	中国
藤井 知昭	教授(第五研究部)	2. 3. 5	2. 3. 15	タイ, 中国
櫻井 哲男	助教授(第五研究部)	2. 3. 13	2. 3. 17	韓国
大塚 和義	助教授(第一研究部)	2. 3. 15	2. 3. 30	ソ連
中牧 弘允	助教授(第一研究部)	2. 3. 16	2. 3. 31	オランダ, ベルギー
杉村 棟	教授(第二研究部)	2. 3. 12	2. 3. 27	イラク
栗田 靖之	助教授(第二研究部)	2. 3. 13	2. 3. 23	シンガポール, ブータン
石毛 直道	教授(第一研究部)	2. 3. 24	2. 3. 31	メキシコ
朝倉 敏夫	助手(第四研究部)	2. 3. 27	2. 4. 5	韓国
櫻井 哲男	助教授(第五研究部)	2. 3. 28	2. 4. 6	連合王国, 西ドイツ, フランス
永ノ尾信悟	助教授(第三研究部)	2. 3. 31	2. 4. 11	インド

来館者抄

1月13日 Margaret REYNOLDS (オーストラリア地方自治大臣, オーストラリア) 夫妻

1月19日 国際協力事業団平成元年度集団研修情報処理要員養成(データベースシステム設計B)コース研修員一行  
 German Anibal Lanfredi (外務・宗教省コンピューター課シニアプログラマー, アルゼンチン)  
 Jose Eduardo Figueroa (労働・社会保障省総務局情報統御課プランナー, アルゼンチン)  
 Antonio Edgar Nelson Ramos Ventura Da Cunha (内務省東北部開発庁コンピューター調整部開発課システムエンジニア, ブラジル)  
 Dedi Zupriyadi (国家開発企画庁情報処理局プログラマー, インドネシア)  
 Jae-Myung Lho (韓国国立大学 EDPS プログラマー, 韓国)  
 Alejandro Mata Gonzalez (文部省技術・産業省教育課職業教

育センター講師, メキシコ)  
 Hector Gregorio Vazquez Torres (文部省アルトゥロ・ロセンブルート情報処理センターシステムデザイン課課長, メキシコ)  
 Gladys Maria Huapaya (大蔵省資料・統計局システム開発課プロジェクト・チーフ, ペルー)  
 Julia Antonicta Carbajal Garcia (ペルー電気通信公社情報システム部データベースデザイン課セクション・チーフ, ペルー)  
 Meynardo Uyaco Hipolito (労働省, 人材計画部計画課プログラマー, フィリピン)  
 Abudullah Abdulaziz Sayegh (大蔵省行政研究所コンピューター・センターシステムアナリスト講師, サウディアラビア)  
 Abdullah Mohammed Alarshaid (サウディ・アラビア標準化事業団情報センター専門職員, サウディアラビア)  
 Julijana Primobrac (ユニス電気・通信・情報公社コンピューター開発部ソフトウェア課ソフト



- ウェア・デザイナー, ユーゴスラビア)
- Novica Kovacevic (エネルギー・インベストコンピューター・センターシステム・アナリスト, ユーゴスラビア)
- 1月22日 Luvsanvandan SONOMYN(科学アカデミー・文化省付属文化芸術研究所長, モンゴル人民共和国)
- 1月26日 Frederic Lordon DALRYMPLE (オーストラリア大使), Angela Kimi COALDRAKE (アデレード大学助教授, オーストラリア)
- 2月2日 Abdul Samad HADI (国民大学地理学科教授, マレーシア)
- 2月6日 趙 惠 貞 (延世大学社会学科副教授, 大韓民国)
- 2月8日 国際協力事業団平成元年度行政情報システムにかんする国際研修員一行
- José Luis A. Beltrán Baldivieso (Director of Electronic Data Processing, Management, Coordination and Control of Governmental Computer Center, Government of Formosa State, アルゼンティン)
- Jorge Francisco Castro (General Manager in Information System, Province of Santiago del Estero, The Government of Santiago del Estero, アルゼンティン)
- Maria L. Pascale de Oliveira Costa (System Analyst, Foundation of Administrative Development, ブラジル)
- José F. M. Mayer (Senior System Engineer, Data Processing Company of Paraná State, ブラジル)
- Ashok Kumar Jain (Senior Scientific Officer, Computer Development Division, Department of Electronics, インド)
- Liberty Manurung (Staff of Data Collecting and Processing Division, Bureau of Planning, インドネシア)
- Kamal Faouzi Mokdad (System Operator/Programmer, Data Processing Department, The Bank of Lebanon, レバノン)
- Mohamad Izani Bin Abdul Ghafar (Assistant Director, Management Information System Div, Implementation Coordination Unit, Prime Minister's Department, マレーシア)
- Mohd. Latfi B. Abd. Rahman (Junior System Analyst/System Programmer, Computer Center, Implementation Coordination Unit, Prime Minister's Department, マレーシア)
- Luis Armando Wong Miu (Programmer, National Council of Science and Technology (CONCYTEC), ペルー)
- Ana Maria P. Canlas (Information Technology Officer I Management Information System Unit, University of the Philippines, フィリピン)
- Antonio Ma. B. Bartolome Fuentes (Information Technology Officer II, National Statistical Coordination Board, フィリピン)
- Ibrahim Al Rowaili (Manager of Computer Operations, Civil Service Bureau, Government of Saudi Arabia, サウディアラビア)
- Vichuda Kitkralard (System Analyst/Programmer, Department of Business Economics, Trade Statistics Center, タイ)
- Achara Phurikhup (Personnel Analyst 6, Office of the Civil Service Commission, タイ)

- Yilmax Atasoy (System Analyst / Programming Manager, Manager of Programming Office, Census and Citizenship General Directory, トルコ)
- Suat Zeld Canpolat (System Manager, The Ministry of Justice, General Directorate of Judicial Registration and Statistics, トルコ)
- 2月13日 Tunakaimanu FIELAKEPA (教育省管理部首席教育官, トンガ)
- 2月16日 Moolasartsathorn PHISAN (上院議員・アユタヤ歴史資料館責任者, タイ), Hutachareon CHAIWAT (アユタヤ県知事, タイ)
- Jean-Claude COURDY (FR 3TV 局編集局長, フランス) 夫妻  
 京都大学外国人留学生一行  
 Amadatsu Clarice Keiko (ブラジル)  
 Ishizaki Carolina Maki (ブラジル)  
 黄美華 (中国)  
 張舒 (中国)  
 Chan Tsui Nin Nancy (香港)  
 Kulkarni Shilpa Pralhad (インド)  
 Zaini Asmara Waty (インドネシア)  
 徐泰順 (韓国)  
 Czerwinska Anna (ポーランド)  
 Mackenzie J. Elizabeth (連合王国)  
 Lennon Mark Michael (アメリカ合衆国)  
 Thayer Lee Edward (アメリカ合衆国)  
 Rizhova Madiezda Nikolayevna (ソ連)
- 2月19日 Edward DURIE (マオリ土地裁判所長兼ワイタング審判所長, ニュージーランド) 夫妻
- 2月22日 チウング セウング モ (国立博物館展示部研究員, 大韓民国), パクホ ウオング (同, 大韓民国), K. R. WESTCOTT (豪日交流基金所長)
- 2月23日 沼野 勉 (国立歴史民俗博物館資料課登録台帳係長), 新妻一三 (同館同課情報処理係長)
- 2月27日 Gerhard KNOW (ノルトライン・ウエストファーレン州文部次官, 西ドイツ)
- 3月1日 小野寺寛 (新潟県立自然科学館企画普及課長), 大橋英夫 (同館理工課展示専門員), 近藤憲一 (同館理工課展示専門員)
- 3月5日 中国日本研究者グループ  
 団長 駱為龍 (中国社会科学誌日本研究所所長)  
 副団長 徐昌華 (北京大学日本文化研究所副所長)  
 秘書長 鄭士信 (河北大学日本研究所副所長)  
 団員 王家擘 (南開大学歴史研究所副教授)  
 鄭敏 (吉林省社会科学院)  
 崔新京 (遼寧大学日本研究所)  
 黄徳城 (中南民族学院)  
 李南南 (現代国際関係研究所)  
 崔世広 (中国社会科学院日本研究所)  
 諸葛衛東 (中国社会科学院日本研究所)  
 張丹 (中国社会科学院日本研究所)
- 3月8日 Otto-Herman FREY (マールブルグ大学考古学主任教授, 西ドイツ)
- 3月9日 総務庁平成元年度日中青年親善交流事業中国青年団一行
- 3月13日 マレーシア政府職員研修員一行  
 Ishak Bin Ahmad (Public Service Department, Deputy Director Establishment)

- Minhat Bin Mion (Ministry of Health, Administrative and Diplomatic Service)
- Ramli Bin Ismail (Public Service Department, Administrative and Diplomatic Service)
- Yong Lee Fen (National Institute of Public Administration (INTAN) Public Service Department, Administrative and Diplomatic Officer)
- Ishak Bin Haji Ibrahim (State Department of Agriculture Kedah, Deputy Director)
- Berahum Bin Sakimon (Federal Agricultural Marketing Authority (FAHA) Senior Administrative Officer)
- 3月15日 国立婦人教育会館平成元年度海外婦人教育情報専門家情報処理研修生一行
- Wallapa Chyehard (総理府常任秘書局庶務部婦人政策及び計画アナリスト, タイ)
- Mahmudah Zainal (インドネシア科学ドキュメンテーション情報センター女性クリアリングハウス図書館課処理担当官, インドネシア)
- Sudha Pant (労働社会福祉省女性開発部立ニュース省, ネパール)
- Makelesi Butulovo (女性文化省女性文化部女性問題担当官補, フィジー)
- 3月16日 Sami ZUBAIDA (ロンドン大学パークベックカレッジ上級講師, イギリス)
- 3月20日 劉 儻 河 (台湾省立美術館長, 中華民国)
- 3月23日 John BEYNON (在バンコック ユネスコ・アジア太平洋地域中央事務所首席学校施設担当官, タイ)
- 3月25日 ロバート エミール マブロー (オックスフォード・エネルギー研究所長, イギリス)

## 国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
  - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
  - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
  - (3) その他本館において適当と認めたる者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1  
国立民族学博物館内  
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

## 国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。  
[柳田 1942: 67-69]  
[Leach 1961: 123]  
[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]  
ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。  
[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
  - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
  - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13(4): 311-330。

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.  
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,  
The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代のエクスタシー技術——』 堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 15卷1号

〔監 修〕

梅 棹 忠 夫

〔編集委員長〕

友 枝 啓 泰

〔編集委員〕

片 倉 素 子

崎 山 理

周 達 生

田 邊 繁 治

垂 水 稔

長 野 泰 彦

林 行 夫

宮 本 勝

八 杉 佳 穂

山 本 紀 夫

和 田 正 平

---

平成2年8月15日発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 15卷1号

編集・発行 国立民族学博物館  
〒565 吹田市千里万博公園10-1  
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社  
〒602 京都市上京区下立売通小川東入  
TEL 075 (441) 3155 (代表)

---

Bulletin of the National Museum of Ethnology  
vol.15 no.1  
1990

- YOSHIMOTO, Shinobu**    **Typological Studies of Indonesian Handlooms:  
(1) Types and Distribution**
- KOMMA, Toru**        **Death and Resurrection: Changing Cultural  
Notions of Death among the Terik and the Tiriki  
of Southwestern Kenya**
- YASUGI, Yoshiho**    **Ordinal Numerals in Middle American Indian  
Languages**
- NISHI, Yoshio**        **The Distribution and Classification of Himala-  
yan Languages (Part I)**



**National Museum  
of Ethnology**

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan  
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X